

「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰【功労者】

団 体 推 薦 書		活動拠点（都市名）		新宮市	
被推薦者 ・団体	ふりがな	ちーむ・ほえーる		活動開始年	2012年
	氏名・団体名	チーム・ホエール（障害者陸上競技チーム）		通 算	11年間
団体代表者	ふりがな	ひらさわ まなぶ		団体の規模 人数の内訳等	30名 登録障害当事者18名程度、 コーチ1名、事務局員1名、 サポーター（保護者含む）8名程度
	氏名	平澤 学			
	役職	専任コーチ			
活動の分野 (4つまで選択可)	1	2	3	主な参加者 (障害種別)	すべて 13名/回
	スポーツ	普及啓発			
	(その他)				
活動に当たって連携している機関・団体等（8つまで選択可）					
1	2	3	4	5	6
行政（保健・福祉部局）					
(その他)	NPO法人ハトぼっぽ				
活動概要	ダイエット目的等、興味から参加することとなったスポーツ活動であるが、更に専門性を持った陸上競技の練習を行うことで、その成果として全国大会に出場するなどしている。また余暇時間を年齢や障害種別を超えて交流できる機会を作っている。				
過去の取組実績 表彰等					
推薦理由（対象・活動履歴・実績・特徴・活動の効果等）					
2012年に行われたハーフマラソン大会に出るため、専門のコーチが欲しいと依頼され、取り組みを始めたチームである。「体を動かしたい」「大会に出てみたい」「良い順位でゴールしたい」など様々な思いを持った障害者とその保護者の方たちが参加している。特徴は、障害のある人たちが目標を持って身体を動かし、競技に参加していることである。当初は健常者に混ざって駅伝やマラソン大会など長距離ロードレースに参加していたが、2年目からはそれぞれの特性をもっと活かせるように、選択肢の多い陸上競技全般に活動を広げた。この活動から県の障害者スポーツ大会や地方の陸上競技大会にも参加を始め、2015年に開催された「紀の国わかやま大会」で初めて代表選手を当チームから選出した。陸上競技に専門性を持つ指導者が伝えることで、同じ目標やあこがれを持ち、結果を喜び合う中で仲間づくりに取り組んでいる。更にこのつながりが、年齢や障害種別を超えて、ボウリングや映画鑑賞などの余暇活動にも広がりを見せており、地域の生涯学習の支援活動として、大きな夢を持ったチームであることから、推薦する。					
推薦自治体・団体名	和歌山県共同作業所連絡会				
事務担当者	所 属	和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課			
	役 職	社会教育主事	氏 名	倉本健吾	
	T E L	073-441-3720	E-mail	kuramoto_k0002@pref.wakayama.lg.jp	

※入力内容に関して、問い合わせさせていただく場合がございます。

活動名称：チーム・ホエール（障害者陸上競技チーム） 推薦：【都道府県・政令市名】

活動の実践内容等（生涯学習支援活動の内容や成果について記載してください。）	
活動名称	チーム・ホエール（障害者陸上競技チーム）
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ○集合練習（毎月1回） ○個人練習の指導及び相談等のサポート ○各種大会等への参加 ○余暇の仲間づくり 等
活動の経緯 推進体制等	<p>2012年に行われたハーフマラソン大会に出るため、専門のコーチが欲しいと依頼され取り組み始めたチーム。</p> <p>現在は事務局員1名と専任コーチ1名が計画と指導にあたり、作業所職員や学校教員、保護者等からのサポートを受けている。</p> <p>また、器具の購入などは、「NPO法人ハトぽっぽ」からの援助も受けている。</p>
活動の成果 普及状況	<p>活動の経過と成果は別の様式で添付します。</p> <p>普及状況としては、当初のマラソン中心のメンバーの何人かが去ってしまったが、いろいろな種目に挑戦できる環境を整え、明確に成果を確かめられる大会参加や記録会の開催などを行ったところ、少しずつ参加者が増加。ただし、昨年までの3年ほどは新型コロナウイルス感染予防のための自粛や合同練習への参加規制、大会の中止などで思うように参加できないメンバーもいた。</p>
活動の工夫 （障害のある参加者等との意思疎通に関する工夫など）	<ul style="list-style-type: none"> ○地域には競技を行える場所はなく、広場等を活用した練習の工夫も必要である。そのため競技へのモチベーションを保つため、ロードレースへの参加も積極的に実施。 ○連絡にはグループLINEを活用。みんなが見返せ、ご家族と一緒に確認でき、保護者達が撮影した写真や動画を掲載することで、「こんなことをみんなでやった」と振り返りもできるようにしている。また、記載内容については、様々な特性のある参加者がいるため、予定や、練習中のコーチからの指示なども理解しやすい指示表示を行うよう心掛けている。
今後の展望	<p>趣味や趣向の取り組みであるため、その時々で個人で参加を決めてもらうこととなりますが、陸上競技をただ走るだけではない取組として、目標や自己記録への挑戦、大会参加、時にはチームメイトと競争するなど、切磋琢磨する中で、個々の特性を踏まえ、成長を実感できる取り組みを続けていきたいと考えている。</p> <p>この活動に興味を示してくださる地域の陸上競技協会にも、協力いただき大会参加など行っていきたい。</p>
活動紹介に関する情報（HP・SNS等）	<p>特に広報は行っていないが、学校や事業所等のつながり、選手や保護者などのつながりで、活動が口コミで広がっている状況。</p>
備考	

※提出前に再度、御確認ください。

- ・オレンジ色のセルに必要事項を入力すると白色になりますが、すべて白くなる必要はありません。
- ・推薦に当たっては、「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰要項を十分に御確認ください。
- ・推薦書作成に当たっては、＜参考資料＞推薦について も御確認ください。

【問合せ先：文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 障害者学習支援推進室】